

# Case Study 1

## 有限会社 久保九十九組

### 災害時の安全対策と社会的役割

#### Data

対象事業：建築・土木工事業

対象リスク：大規模地震

被災シナリオ：震度6強の地震。発生後、1日の停電、断水及び1週間の燃料不足

事業継続策：従業員と家族の安否確認。顧客からの工事依頼、地方自治体からの災害復旧の活動要請



企業名 有限会社久保九十九組

代表者名 久保 卓一

#### Q 御社の事業内容は？

民間・公共工事の建築、土木、舗装、管工事業を営んでおります。

#### Q 今回BCP策定に取り組まれた理由を教えてください。

2011年3月の震災では業務を続けていくうえでの対応力、準備不足を感じました。その時の経験から、社内での有事における対策方針や従業員と家族の安否確認の方法をまとめる必要性があると感じ、BCP策定に取り組むことにしました。

#### Q 策定したBCPの主な内容（ポイント）を教えてください。

主な内容としましては、以下の4点となります。

- ① 従業員と家族の安否確認、安全確保
- ② 入手困難と予想される資材、燃料等の確保
- ③ 工事、復旧作業の対応順位
- ④ 協力業者との体制整備

#### Q 今後の課題と方向性について教えてください。

災害時は従業員、資機材、燃料等の準備が整えば早急に業務（復旧）につくことができます。しかし、場合によっては予想を遙かに超える要請も予想されます。そのような時に柔軟な対応と同時に従業員に対する肉体的、精神的なケアを検討することが今後の大きな課題となります。

#### Q BCPを策定した感想をお願いします。

事業内容、会社規模にあった無理のない計画書の整備が必要であると感じました。常に危機管理の意識を持ち、有事の対応について従業員、協力業者、行政と検討する必要があると思います。

商号	有限会社 久保九十九組
本社所在地	栃木県真岡市田町 1624-1
設立	昭和41年
資本金	800万
従業員数	10名
代表者	久保 卓一
事業内容	建築、土木、舗装、管工事業